●場所:東近江市近江商人博物館 ロビー (東近江市五個荘竜田町583) ●時間:9:00~17:00(最終日は16:30まで) ●料金:鑑賞無料 ●休館日:月曜日 ●問い合わせ:奥平朋子/0748-42-1222

■高 島 明治・大正の教科書展 小学校で使用された教科書や椅子などを展示する

●場所:マキノ資料館(高島市マキノ町蛭口260-1) ●時間:9:00~16:30

●料金:入館無料 ●休館日:月·火曜日 ●問い合わせ:マキノ資料館/0740-27-1484

東近江 谷口 左和子 器展

京都の器作家・谷口左和子の個展 ●場所:cafe&gallery Hakmokren

(東近江市五個荘川並町732-1) ●時間:11:00~18:00 ※金・土・日・月曜日のみ営業 ●料金:鑑賞無料

●問い合わせ:カフェ&ギャラリー ハクモクレン/0748-26-2429

守 山 第77回 東門院 門前アート市

●問い合わせ:ループプランニング(小井)/077-582-3123

陶器、布小物、リフォーム着物、木工製品、アクセサリーなどさまざま な手作り品の他、お菓子、漬け物など食べ物のブースも ●場所:比叡山東門院守山寺 境内(守山市守山2-2-46) ●時間:10:00~15:00 ※雨天決行 ●料金:入場無料

大津 第15回 紙の結晶の世界展 ハサミ1本で作る雪の結晶のような形の切り絵を展示

●場所:びわ湖大津館 3F市民ギャラリー(大津市柳が崎5-35) ●時間:13:00~19:30(最終日は16:00まで) ●料金:鑑賞無料 ●問い合わせ:紙の結晶 妙凛/090-1961-0275

| 愛|| 荘|| ファミリーミュージカル ピノッキオの冒険 木の人形は本当の人間の子どもになれるか。勇気や素直で優

しいこころを描くミュージカル 【出演】劇団トマト座 ●場所:ハーティーセンター秦荘(愛知郡愛荘町安孫子822)

●開演:14:00(開場13:30)

●料金:一般1,300円 18歳以下800円 親子ペアチケット2,000円(当日各200円増)※全席自由

●備考:3歳以下無料(席が必要な場合は有料) ●問い合わせ:ハーティーセンター秦荘/0749-37-4110

☆ 山 絵本の選び方・読み方・楽しみ方 絵本の選び方や読み方についての話を通じて、子どもに本を手渡 すことの大切さを学ぶ。後半はワークショップ形式での実演あり

> 【講師】梓加依(子どもの生活文化研究家) ●場所:守山市立図書館 2F視聴覚室(守山市守山5-3-17) ●時間:13:30~15:30 ●料金:参加無料 ●定員:30人(先着順)

●申し込み・問い合わせ:守山市立図書館/077-583-1639









唐木仏壇・家具調仏壇も

彦根工房 彦根市平田町448

色紙を中心に書の作品を展示

他、昔の様子を写真で紹介。小学校の統廃合の経 過も図で説明する

同市の「手づくり工房比良の里」で無添加米と うじみそやサツマイモの菓子、マーマレード などを作っている。

大津市北比良で活動する北比良グループの「里山弁

当」が、「第7回地産地消給食等メニューコンテスト外

同グループは1967年に発足。農家の忙しい主婦に代

わって共同で炊事などを行ったのが始まりで、現在は

食・弁当部門」で近畿農政局長賞を受賞した。

毎日新聞

直営のJR比良駅前「ほっとすていしょん比良」 では商品の販売をするとともに軽食喫茶も運 営。里山弁当(800円)もそのメニューの一つだ。 「賞をいただけてとてもうれしいです。これか

らも地域の食材をもっと積極的に使っていこう **と、心新たにしています**」とスタッフの山川君 泣さん。

弁当は3段重ねで、1段目は地元産キヌヒカ リのご飯と漬け物、2段目は主菜、サラダ、煮 豆、3段目は副菜3~4品。自家製のみそを 使ったみそ汁が付く。(取材・志賀)



ほっとすていしょん比良

●場所:大津市北比良290-1 ●営業日:水・土・日曜日 ●時間:【3~10月】10:00~17:00 【11~2月】10:00~16:30

●TEL:077-596-1679

北比良グループ 問い合わせ ●加工日:火·金曜日 ●TEL:077-575-133



3/20(金) TOHOシネマズ 日劇他全国ロードショー ■彦根ビバシティシネマ ■イオンシネマ草津 ■イオンシネマ近江八幡 ■水口アレックスシネマ ■大津アレックスシネマ ■ユナイテッド・シネマ大津



●営業時間 10:00~18:00 ●定休日 毎週木曜日(日曜・祝日営業)

☎0749-22-0365(代)

栗東店 栗東市手原2丁目 ☎077-553-5131(代)





愛荘町立歴史文化博物館で、企画展「祝い の彩りーハレの衣装と道具一」が開かれて

「ハレ」とは、婚礼や祭礼などの非日常的な 空間のことで、ハレの日に華やかな衣装を 着て、特別な道具で祝う風習は今でも根付

今展では、同町に伝わる結婚や宮参り

の装いなど、ハレの日に用いる着物 祝いの彩り

-ハレの衣装と道具 ●場所:愛荘町立歴史文化博物館 (愛知郡愛荘町松尾寺878)

●時間:10:00~17:00(入館は16:30まで) ●料金:一般300円 小中生150円 ●休館日:月・火曜日(祝日の場合は開館)、

お気軽にお越 しください」 と学芸員の大東

沙耶香さん。 道具や衣装の デザインは変

「なつかしい道

具や衣装には、

今も心打たれる

ものがあります。

わっても、ハレの日を祝 う人の気持ちは今も変わらない。(取材・前川)

や道具を中心に92点を展示。戦前の「嫁入

り儀礼」の衣装や道具、20歳に人生の節目と

して行う「若衆入り」なども紹介している

い合わせ 愛荘町立歴史文化博物館/0749-37-4500

視点カラ。

株式会社 滋賀毎日広告社 T520-0806 滋賀県大津市打出浜3-16 (毎日新聞大津支局内1F) tel 077-522-2603 (代) fax 077-522-2692 s-maiko@qb4.so-net.ne.jp

野。にの 茶。ほ花は 碗~つ

水がえ調が

※お問い合わせは、上記連絡先まで。